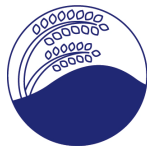


当別町 150 年記念 シンボルマークに 込めた想い part 8

★ストーリー 26 当別中 2 年 高野 未涼さん



私の家は農家でななつぼしなどのお米を作っています。当別と言えば、「お米」や「すてきな景色」をイメージしたので、自宅から見える稲穂と山を曲線的に描き、バランスを取りながらデザインをしました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

38 個みんな個性があってすごくいいと思うし、自分もしっかり個性が出せてよかったです。

★ストーリー 27 当別中 2 年 山崎 樹里さん



当別の夜景がすごくきれいなので、星を描きたいと思いました。星と山と木を 2 つずつ描いて、バランスよくデザインしました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

マークを 1 つずつ見ても楽しめますし、全体を見ると当別に来たことがなくても当別の良さが伝わってくると思います。

★ストーリー 28 当別中 2 年 上山 華琳さん



当別町の場所を知らない人にも、北海道のどこにあるのかを伝えたくてデザインしました。札幌から近いのに自然がたくさんあることを知って欲しい想いで、亜麻の花を描きました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

一目見てすごくかわいいと思いました。自分のマークだけでは伝わらないけど、38 個集まると当別の良さが伝わってきます。

★ストーリー 29 当別中 2 年 高島 実希さん



町内会で周辺のごみ拾いをした時、子どもから高齢者まで、みんな楽しそうに笑って取り組んでいました。マークは当別の人たちの笑顔と優しさが伝わるように表現しました。

☆ 38 個のデザインが一つとなった印象は…

「お米」や「自然」などテーマが同じでも、それぞれストーリー性があって、一人一人が思うイメージが違っていることが分かりました。



10 月に予定していた記念式典等は延期 (P.3 に掲載) となりましたが、引き続きシンボルマークの活用をお願いします。



★問合せ 150 年記念事業室 ☎ 23 - 2330
E-mail : 150years@town.tobetsu.hokkaido.jp